

「教育DX推進プラン2025（案）」に対する県民意見の募集の結果について

令和7年3月18日  
大分県教育庁教育デジタル改革室

令和7年1月22日から令和7年2月21日までの間、県民の皆様から募集した「教育DX推進プラン2025（案）」についてのご意見の概要、ご意見に対する県の考え方及び計画への反映状況を取りまとめましたので公表します。  
なお、4人の県民の皆様から延べ20件の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

番号	関連施策	項目	寄せられた意見等の要旨	意見に対する考え方及び反映状況
1	第1章 学校教育の 情報化の 現状と 課題	2. 本県の 現状と 課題	基本方針1として「子どもたちの情報活用能力の向上」が掲げられている点は高く評価されるものとする。教育DXを端的に示す枠組みがあると、より理解が広がるように思う。文部科学省が示した教育DXの3段階は、第4期教育振興基本計画でも明記されており、これを枠組みの基盤とすることで、国の方針を背景に推進する方向性を共有しやすいのではないか。	「教育DX」について、文部科学省が第4期教育振興基本計画で示した3段階を参考に、大分県版教育DXのイメージを本文内に記載し、今後推進する方向性を共有いたします。
2			大分市、玖珠町などを除く地域におけるネットワークが遅く、児童生徒・教員ともに少しストレスを感じていたふしがある。地域差が表れているのではないか。また、PCが古い県立学校もあり、入れ替えの急務も感じる。	ネットワーク環境および学校のPC等については、本プラン18ページの「基本方針3 教育の情報基盤の整備」の取組の方向性に示すように「ネットワークや機器の更新・増設を計画的に進めます。
3			これまで学校で取り組まれたICTのことは素晴らしいものである。今後続けてほしい。	大分県では、平成25年度から、大分県の教育情報化の推進を目指す計画をたててきました。今後も時代の変化に合わせて、大分県長期教育基本計画に基づき、子どもたちの情報活用能力の向上を目指したICT活用を推進してまいります。
4			かなり前から計画を立てられているようで、写真もわかりやすく拝見できた。	
5	第2章 基本方針 と施策	1. 基本 方針	第1章の意見として記載した教育DXの3段階の図があると、教育委員会や各学校の目標を設定しやすくなるように思う。	「教育DX」について、文部科学省が第4期教育振興基本計画で示した3段階を参考に、大分県版教育DXのイメージを本文内に記載し、今後推進する方向性を共有いたします。
6			「リアル×デジタル」の最適化の解説について、わかりやすくして下さい。	第2章「基本方針」に追加説明として、「リアル×デジタル」の具体例を示し、「リアル」×「デジタル」をバランスよく組み合わせることで教育効果を高めます。また、取組事例を「ICT活用授業&探究ライブラリポータルサイト」に掲載し、広く共有します。
7			「リアル×デジタル」は大変理想的でこれから大分県が目指すべき道だと思われまます。「アナログ（人間力）×デジタル」だと思っており、「ICTを自分の想いで使いこなす児童生徒の育成」が教員の使命であってほしい。	
8	第2章 基本方針 と施策	取組の方向性 基本方針 1	「ネットワークが使用できない家庭」（山間部）があることを、留意してほしい。	「ネットワークが使用できない家庭」があることに留意しながら、家庭や地域でのICT活用を推進します。
9			目標指標の「ICTを毎日使用している小・中学校の児童生徒の割合」が今、26.4%なのは少ないか。令和9年の目標55%も低いように思う。遠隔教育の高校の受信校が目標28校とは、もともと高校は何校あるのか。	この数値は全国学力学習状況調査によるもので、R5は「ICTを毎日利用している」と回答した子どもたちの割合が「26.4%」でした。そのため、10年後には100%を目指すことを目標とし、中間地点となるR9の目標値を55%としています。 県立高校は40校あり、そのうち普通科設置校は28校あります。この普通科設置校を目標校としています。

番号	関連施策	項目	寄せられた意見等の要旨	意見に対する考え方及び反映状況
10	第2章 基本方針 と施策	取組の方向性 基本方針 2	(1)学習活動における教員のICT活用指導力の向上において、授業でのICT活用を増加させる手立てとして「教材（提示スライド等）の準備の軽減」も考えられる。ICT教育サポーターが作成を支援した教材などはデータベース化し、県内の教員であれば誰もが活用できる環境整備もご検討してほしい。	ICT教育サポーターが作成した資料等は、授業の際に教員や児童生徒に役立ててもらえるよう、「大分県ICT教育サポーター育成プラットフォーム ポータルサイト」等で共有します。
11			基本方針2の取組の方向性について支持する。	今後も、変化の激しい社会において、デジタル技術を適切かつ主体的に活用していける子どもたちの育成を目指し、教員のICT活用指導力の向上に努めます。
12			クラウド環境を校務や授業で使っている学校の割合は、70%というのが適切なのか。	国が示す「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」では、クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校」のR8の目標値が100%とされていることから目標値を100%とします。
13	第2章 基本方針 と施策	取組の方向性 基本方針 3	LBO（Local Break Out）もしくは高速ネットワークの構築は急務です。「MEXCBT」をはじめ多くのデジタルツールの使用が始まり、予算化を含めた早急な対応をお願いしたい。今後、「学習 e ポータル」「教育ダッシュボード」などの各種データ連携をする場合、「統合型校務支援システム」が核になります。全国の状況や使用感、今後の大分県の方向性を意識したシステムを選定をお願いしたい。	基本方針3の教育の情報基盤の整備の取組の方向性に示すように、今後も市町村教育委員会や小中学校などの意見も参考にしながら、長期的な視点で校務の情報化を推進します。
14	第2章 基本方針 と施策	取組の方向性 基本方針 4	(1)教育情報化の組織的な推進において「ICTの専門的な知見を有した大分県教育DX推進プラットフォームによる充実した支援」と記載がありますが、DXの推進において民間企業でも内部人材だけで取り組むことの課題が指摘されています。専門人材の育成を進め、大分県内で広く活動することで、教育DXの着実なステップアップを期待している。	外部アドバイザーやICT教育サポーターが、学校のDXを推進するチームの一員となり、教育DXの着実なステップアップを目指します。
15			学校CIO や情報化推進リーダーを位置付けるとありますが、校長や教頭はコンピュータが使えるのか。	学校において校長や教頭等は情報化を推進していくため、研修を受講してスキルアップを図っております。また、校内の教員やICT教育サポーター等を活用して、教員のICT活用指導力の向上に励んでいるところです。
16			基本方針4の取組の方向性について支持する。	基本方針1から3を組織的に推進するための体制を強化し、教育DXを推進します。
17			学校HPは週1回以上更新しないとダメなのか。	地域に向けて学校の情報発信をしていくため、週1回以上を目標としています。
18	その他		児童生徒たちの「タブレット端末」「スマホ」を合わせた使用時間は非常に長いものとなり、「スマホ」⇒「タブレット端末」に切り替えていく施策を国策で提案できないでしょうか？今後ますます「デジタルにおける健康への影響」における話題は出てきます。	スマホやタブレットの利用については、本プラン15ページの取組の方向性<情報モラル・情報セキュリティ>に示すように「機器の使用と健康との関わり等」についても、児童生徒が理解を深めるよう、普及啓発を行ってまいります。
19			大分県全体で教育DXに計画的に取り組む姿勢を広く示されていることが素晴らしいと思います。この取り組みにより新たな学びが展開され、子どもたちと大分県の将来が豊かなものになることを願っている。	ICT機器やクラウド環境を活用し、学校組織のDXを推進するため、ICT教育サポーター育成プラットフォーム（大分県教育DX推進プラットフォーム）等、ICTの専門的な知見を有した人材を活用し充実した支援を行います。
20			子どもが学校へ通っているが、どんなふうにタブレットを使っているのかわからなかったが、これを見て何となく使っていることがわかった。頑張ってください。	本プランの基本方針4の20ページにも示すように、県民に教育情報化の取組状況を知っていただくために、今後も情報発信をしてまいります。